

平成23年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名:モニタリング調査
 調査媒体:底質(単位:pg/g-dry)
 地方公共団体:大阪市
 調査地点:淀川河口(大阪市)

調査対象物質	測定値	検出下限値	定量下限値
[1] PCB類	76,000	4.5	12
[1-1] モノクロロビフェニル類	200	0.1	0.3
[1-2] ジクロロビフェニル類	3,500	1	3
[1-3] トリクロロビフェニル類	16,000	0.5	1.2
[1-4] テトラクロロビフェニル類	22,000	0.3	0.8
[1-4-1] コプラナー-PCBのうち 3,3',4,4'-テトラクロロビフェニル(# 77)	1,400	0.2	0.6
[1-4-2] コプラナー-PCBのうち 3,4,4',5'-テトラクロロビフェニル(# 81)	11	0.2	0.5
[1-5] ペンタクロロビフェニル類	19,000	0.4	1.1
[1-5-1] コプラナー-PCBのうち 2,3,3',4,4'-ペンタクロロビフェニル(# 105)	1,100	0.3	0.8
[1-5-2] コプラナー-PCBのうち 2,3,4,4',5'-ペンタクロロビフェニル(# 114)	69	0.2	0.4
[1-5-3] コプラナー-PCBのうち 2,3',4,4',5'-ペンタクロロビフェニル(# 118)	3,000	0.4	1.1
[1-5-4] コプラナー-PCBのうち 2',3,4,4',5'-ペンタクロロビフェニル(# 123)	67	0.3	0.8
[1-5-5] コプラナー-PCBのうち 3,3',4,4',5'-ペンタクロロビフェニル(# 126)	16	0.2	0.5
[1-6] ヘキサクロロビフェニル類	12,000	0.6	1.6
[1-6-1] コプラナー-PCBのうち 2,3,3',4,4',5'-ヘキサクロロビフェニル(# 156)	370	0.3	0.8
[1-6-2] コプラナー-PCBのうち 2,3,3',4,4',5'-ヘキサクロロビフェニル(# 157)	99	0.3	0.8
[1-6-3] コプラナー-PCBのうち 2,3',4,4',5,5'-ヘキサクロロビフェニル(# 167)	160	0.4	1.0
[1-6-4] コプラナー-PCBのうち 3,3',4,4',5,5'-ヘキサクロロビフェニル(# 169)	2.9	0.3	0.8
[1-7] ヘプタクロロビフェニル類	2,500	0.6	1.5
[1-7-1] コプラナー-PCBのうち 2,2',3,3',4,4',5'-ヘプタクロロビフェニル(# 170)	370	0.5	1.4
[1-7-2] コプラナー-PCBのうち 2,2',3,4,4',5,5'-ヘプタクロロビフェニル(# 180)	670	0.6	1.5
[1-7-3] コプラナー-PCBのうち 2,3,3',4,4',5,5'-ヘプタクロロビフェニル(# 189)	22	0.3	0.7
[1-8] オクタクロロビフェニル類	370	0.3	0.7
[1-9] ノナクロロビフェニル類	49	0.3	0.8
[1-10] デカクロロビフェニル	47	0.4	1.0
[2] HCB(ヘキサクロロベンゼン)	1,100	3	7
[4] ディルドリン	320	2	5
[5] エンドリン	24	0.4	1.1
[7] クロルデン類	3,000	2.5	6.5
[7-1] <i>cis</i> -クロルデン	830	0.4	1.1
[7-2] <i>trans</i> -クロルデン	720	0.5	1.3
[7-3] オキシクロルデン	13	0.9	2.2
[7-4] <i>cis</i> -ノナクロル	490	0.4	1.1
[7-5] <i>trans</i> -ノナクロル	910	0.3	0.8
[8] ヘプタクロル類	38	1.8	4.7
[8-1] ヘプタクロル	7.7	0.7	1.8
[8-2] <i>cis</i> -ヘプタクロルエポキシド	30	0.2	0.6
[8-3] <i>trans</i> -ヘプタクロルエポキシド	nd	0.9	2.3
[10] マイレックス	12	0.4	0.9
[11-1] α -HCH	340	0.6	1.5
[11-2] β -HCH	14,000	1	3
[11-3] γ -HCH(別名:リンデン)	110	1	3
[11-4] δ -HCH	170	0.5	1.4

(注1) 検出下限値以上を検出とした。

(注2) 定量[検出]下限値は同族体ごとの定量[検出]下限値の合計値とした。

平成23年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名:モニタリング調査
 調査媒体:底質(単位:pg/g-dry)
 地方公共団体:大阪市
 調査地点:淀川河口(大阪市)

調査対象物質	測定値	検出下限値	定量下限値
[12] クロルデコン	nd	0.20	0.40
[13] ヘキサブロモビフェニル類	6.3	1.4	3.6
[13-1] 2,2',4,4',5,5'-ヘキサブロモビフェニル(#153)	1.0	0.4	1.0
[13-2] 2,2',4,4',5,6'-ヘキサブロモビフェニル(#154)	nd	0.2	0.6
[13-3] 2,2',4,4',6,6'-ヘキサブロモビフェニル(#155)	5.3	0.1	0.3
[13-4] 2,3,3',4,4',5'-ヘキサブロモビフェニル(#156)	nd	0.4	1.0
[13-5] 3,3',4,4',5,5'-ヘキサブロモビフェニル(#169)	nd	0.3	0.7
[14] ポリブロモジフェニルエーテル類(臭素数が4から10までのもの)	150,000	47	100
[14-1] テトラブロモジフェニルエーテル類	30	4	9
[14-1-1] 2,2',4,4'-テトラブロモジフェニルエーテル(#47)	150	10	30
[14-2] ペンタブロモジフェニルエーテル類	15	4	6
[14-2-1] 2,2',4,4',5'-ペンタブロモジフェニルエーテル(#99)	130	2	5
[14-3] ヘキサブロモジフェニルエーテル類	200	3	9
[14-3-1] 2,2',4,4',5,5'-ヘキサブロモジフェニルエーテル(#153)	69	1	2
[14-3-2] 2,2',4,4',5,6'-ヘキサブロモジフェニルエーテル(#154)	27	1	3
[14-4] ヘプタブロモジフェニルエーテル類	160	3	7
[14-4-1] 2,2',3,3',4,5',6'-ヘプタブロモジフェニルエーテル(#175)及び	71	3	7
[14-4-2] 2,2',3,4,4',5',6'-ヘプタブロモジフェニルエーテル(#183)の合計値			
[14-5] オクタブロモジフェニルエーテル類	310	4	10
[14-6] ノナブロモジフェニルエーテル類	17,000	9	23
[14-7] デカブロモジフェニルエーテル	130,000	20	40
[15] ベルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)	410	2	5
[16] ベルフルオロオクタンスルホン酸(PFOA)	350	2	5
[17] ペンタクロロベンゼン	840	2	5
[18] エンドスルファン類	61	14	39
[18-1] α -エンドスルファン	48	10	30
[18-2] β -エンドスルファン	13	4	9
[19] 1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン類	25,000		
	14,000	1,200	1,700
	12,000		
[19-1] α -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	3,200		
	2,300	280	420
	1,500		
[19-2] β -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	700		
	530	170	250
	320		
[19-3] γ -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	21,000		
	12,000	260	400
	10,000		
[19-4] δ -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	nd		
	nd	250	350
	nd		
[19-5] ϵ -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	nd		
	nd	210	280
	nd		
[20] N,N-ジメチルホルムアミド	nd		
	nd	2,600	3,200
	nd		

(注1) 検出下限値以上を検出とした。

(注2) 定量[検出]下限値は同族体ごとの定量[検出]下限値の合計値とした。